

### 第3章 公害の現況と対策 I 大気

#### (1) 環境基準

物質	環境上の条件	測定方法	達成期間
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値0.1ppm以下であること	溶液導電率法または紫外線蛍光法	維持され又は原則として5年以内において達成されるよう努めるものとする
一酸化炭素 (CO)	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること	非分散型赤外分析計を用いる方法	維持され又は早期に達成されるよう努めるものとする
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内、またはそれ以下であること	ザルツマン試薬を用いる吸光度法またはオゾンを用いる化学発光法	(1)1時間値の1日平均値が0.06ppmを超える地域にあっては、1時間値の1日平均値0.06ppmが達成されるよう努めるものとし、その達成期間は原則として7年以内とする (2)1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内にある地域にあっては、原則としてこのゾーン内において現状程度の水準を維持し又はこれを大きく上回ることをとならないよう努めるものとする
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること	濾過捕集による重量濃度測定方法またはこの方法によって測定された重量濃度と直線的な関係を有する量が得られる光散乱法、圧電天びん法若しくはベータ線吸収法	維持され又は早期に達成されるよう努めるものとする
光化学オキシダント (OX)	1時間値が0.06ppm以下であること	中性ヨウ化カリウム溶液を用いる吸光度法若しくは電量法、紫外線吸収法またはエチレンを用いる化学発光法	維持され又は早期に達成されるよう努めるものとする
微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> )	1年平均値が15μg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m <sup>3</sup> 以下であること	微小粒子状物質による大気の汚染の状況を的確に把握することができると認められる場所において濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法	維持され又は早期達成に努めるものとする

#### 備考

環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活してはいけない地域または場所については、適用しない。

(2) 汚染物質測定状況

神奈川県では大気測定局として、一般環境大気測定局と自動車排出ガス測定局をそれぞれ一局ずつ鎌倉市内に設置し、大気の汚染状況を常時監視しています。

一般環境大気測定局………住宅地での汚染物質の測定(市庁舎屋上に設置)

自動車排出ガス測定局………幹線道路沿道での汚染物質の測定(鎌倉市岡本に設置)

ア 汚染物質経年変化(年間統計値、1時間値の平均値を記載)

項目		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
市庁舎屋上	二酸化硫黄(ppm)	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
	(日平均値の2%除外値)	0.005	0.005	0.003	0.004	0.004
	二酸化窒素(ppm)	0.014	0.014	0.012	0.012	0.012
	(日平均値の98%値)	0.031	0.033	0.029	0.026	0.027
	浮遊粒子状物質(mg/m <sup>3</sup> )	0.022	0.022	0.023	0.021	0.020
	(日平均値の2%除外値)	0.048	0.046	0.059	0.049	0.042
	微小粒子状物質PM2.5(μg/m <sup>3</sup> )	---	---	11.3	12.7	11.1
	(日平均値の98%値)	---	---	---	34.3	25.8
光化学オキシダント(日)	0	0	0	0	0	

※ 光化学オキシダントは市庁舎屋上で1時間値が0.12ppm以上となった日数です。

項目		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
鎌倉市岡本	二酸化窒素(ppm)	0.018	0.017	0.016	0.015	0.015
	(日平均値の98%値)	0.037	0.037	0.034	0.030	0.030
	一酸化炭素(ppm)	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
	(日平均値の2%除外値)	0.8	0.9	0.7	0.6	0.7
	浮遊粒子状物質(mg/m <sup>3</sup> )	0.022	0.019	0.020	0.022	0.020
	(日平均値の2%除外値)	0.052	0.045	0.051	0.058	0.045
	微小粒子状物質PM2.5(μg/m <sup>3</sup> )	---	---	13.6	14.2	13.5
(日平均値の98%値)	---	---	---	35.5	28.7	

イ 27年度二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)測定結果(市庁舎屋上)

測定年月	有効測定日数(日)	測定時間数(hour)	1時間値の平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)	日平均値の最高値(ppm)	日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)	1時間値が0.1ppmを超えた時間(hour)	日平均値の2%除外値(ppm)
27年4月	30	713	0.002	0.010	0.004	0	0	0.004
5月	31	735	0.002	0.013	0.004	0	0	0.003
6月	30	713	0.002	0.008	0.004	0	0	0.004
7月	29	731	0.002	0.009	0.005	0	0	0.003
8月	30	727	0.002	0.010	0.003	0	0	0.003
9月	30	713	0.002	0.013	0.003	0	0	0.003
10月	31	736	0.002	0.007	0.004	0	0	0.003
11月	30	711	0.002	0.009	0.004	0	0	0.004
12月	31	737	0.002	0.009	0.003	0	0	0.003
28年1月	31	737	0.002	0.009	0.003	0	0	0.003
2月	29	690	0.002	0.007	0.004	0	0	0.003
3月	31	737	0.002	0.011	0.004	0	0	0.004
年間	363	8680	0.002	0.013	0.005	0	0	0.004

ウ 27年度二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)測定結果

測定年月	有効測定日数(日)	測定時間数(hour)	1時間値の平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)	日平均値の最高値(ppm)	日平均値が0.04ppm以上となった日数(日)	日平均値が0.06ppmを超えた日数(日)	日平均値の98%値(ppm)	
市庁舎屋上	27年4月	30	712	0.011	0.051	0.022	0	0	0.019
	5月	30	720	0.009	0.043	0.016	0	0	0.016
	6月	30	710	0.010	0.039	0.017	0	0	0.014
	7月	31	737	0.009	0.039	0.017	0	0	0.016
	8月	30	730	0.008	0.034	0.017	0	0	0.013
	9月	30	714	0.010	0.037	0.020	0	0	0.016
	10月	31	738	0.012	0.054	0.022	0	0	0.019
	11月	30	711	0.014	0.046	0.027	0	0	0.023
	12月	31	738	0.017	0.061	0.041	1	0	0.027
	28年1月	30	734	0.018	0.078	0.029	0	0	0.029
	2月	29	690	0.015	0.050	0.029	0	0	0.027
	3月	31	738	0.013	0.047	0.024	0	0	0.022
	年間	363	8672	0.012	0.078	0.041	1	0	0.027

測定年月	有効測定日数(日)	測定時間数(hour)	1時間値の平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)	日平均値の最高値(ppm)	日平均値が0.04ppm以上となった日数(日)	日平均値が0.06ppm以上となった日数(日)	日平均値の98%値(ppm)	
鎌倉市岡本	27年4月	30	714	0.014	0.056	0.028	0	0	0.022
	5月	29	701	0.010	0.040	0.021	0	0	0.017
	6月	29	710	0.011	0.042	0.020	0	0	0.020
	7月	31	738	0.010	0.049	0.029	0	0	0.023
	8月	31	738	0.010	0.037	0.022	0	0	0.017
	9月	30	713	0.014	0.035	0.023	0	0	0.023
	10月	31	737	0.017	0.061	0.029	0	0	0.028
	11月	30	716	0.019	0.057	0.033	0	0	0.029
	12月	31	737	0.021	0.065	0.045	1	0	0.035
	28年1月	31	738	0.021	0.050	0.031	0	0	0.030
	2月	29	691	0.018	0.050	0.032	0	0	0.028
	3月	31	737	0.016	0.051	0.025	0	0	0.022
	年間	363	8670	0.015	0.065	0.045	1	0	0.030

エ 27年度浮遊粒子状物質(SPM)測定結果

測定年月	有効測定日数(日)	測定時間数(hour)	1時間値の 平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値が 0.2mg/m <sup>3</sup> を 超えた時間 (hour)	日平均値が 0.1mg/m <sup>3</sup> を 超えた日数 (日)	日平均値の 2% 除外値 (mg/m <sup>3</sup> )	
市庁舎屋上	27年4月	28	690	0.023	0.063	0.043	0	0	0.038
	5月	31	739	0.025	0.070	0.042	0	0	0.036
	6月	30	718	0.021	0.051	0.039	0	0	0.035
	7月	31	743	0.031	0.072	0.050	0	0	0.046
	8月	30	733	0.027	0.087	0.047	0	0	0.047
	9月	30	718	0.016	0.058	0.032	0	0	0.025
	10月	31	738	0.016	0.060	0.024	0	0	0.023
	11月	30	714	0.015	0.066	0.030	0	0	0.028
	12月	31	743	0.016	0.078	0.039	0	0	0.032
	28年1月	31	741	0.013	0.035	0.024	0	0	0.024
	2月	29	694	0.015	0.064	0.039	0	0	0.025
	3月	31	741	0.017	0.051	0.032	0	0	0.028
	年間	363	8712	0.020	0.087	0.050	0	0	0.042

測定年月	有効測定日数(日)	測定時間数(hour)	1時間値の 平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値が 0.2mg/m <sup>3</sup> を 超えた時間 (hour)	日平均値が 0.1mg/m <sup>3</sup> を 超えた日数 (日)	日平均値の 2%除外値 (mg/m <sup>3</sup> )	
鎌倉市岡本	27年4月	28	687	0.024	0.088	0.045	0	0	0.044
	5月	31	742	0.024	0.070	0.036	0	0	0.036
	6月	30	718	0.019	0.066	0.040	0	0	0.040
	7月	31	741	0.029	0.101	0.057	0	0	0.049
	8月	31	742	0.026	0.084	0.074	0	0	0.061
	9月	30	718	0.018	0.070	0.032	0	0	0.029
	10月	31	740	0.020	0.063	0.034	0	0	0.032
	11月	30	717	0.016	0.089	0.042	0	0	0.032
	12月	31	741	0.018	0.308	0.058	1	0	0.038
	28年1月	31	741	0.016	0.054	0.029	0	0	0.027
	2月	26	658	0.017	0.109	0.029	0	0	0.028
	3月	31	742	0.015	0.061	0.030	0	0	0.024
	年間	361	8687	0.020	0.308	0.074	1	0	0.045

オ 27年度微小粒子状物質(PM2.5)測定結果

測定年月	有効測定 日数(日)	測定時間 数(hour)	1時間値の 平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	1時間値の 最高値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	日平均値の 最高値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ を 超えた日数 (日)	日平均値 の98%値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
市庁舎屋上	27年4月	28	690	15.3	45.0	30.3	0	28.3
	5月	31	739	14.7	43.0	26.3	0	25.8
	6月	30	716	10.9	38.0	25.1	0	23.5
	7月	31	741	13.2	44.0	29.4	0	25.1
	8月	30	732	11.6	52.0	34.0	0	31.6
	9月	30	714	9.3	30.0	19.0	0	17.2
	10月	31	738	11.8	41.0	24.0	0	21.9
	11月	30	718	7.8	51.0	19.1	0	18.7
	12月	31	741	9.3	55.0	31.7	0	19.0
	28年1月	31	736	9.2	33.0	18.5	0	18.0
	2月	29	688	9.6	40.0	17.6	0	17.3
	3月	31	741	11.0	36.0	22.3	0	20.2
	年間	363	8694	11.1	55.0	34.0	0	25.8

測定年月	有効測定 日数(日)	測定時間 数(hour)	1時間値の 平均値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	1時間値の 最高値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	日平均値の 最高値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ を 超えた日数 (日)	日平均値 の98%値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	
鎌倉市岡本	27年4月	28	683	16.8	64.0	34.0	0	30.8
	5月	31	739	17.8	65.0	28.0	0	27.6
	6月	30	718	11.6	58.0	27.6	0	25.5
	7月	31	741	13.7	88.0	31.3	0	27.8
	8月	31	742	13.2	85.0	40.8	1	34.6
	9月	29	697	14.6	55.0	25.9	0	23.9
	10月	31	738	15.1	46.0	25.5	0	25.2
	11月	30	716	10.1	40.0	22.7	0	19.9
	12月	29	722	11.6	50.0	33.2	0	21.3
	28年1月	31	737	12.6	53.0	23.0	0	21.5
	2月	27	665	12.5	46.0	23.2	0	23.0
	3月	31	738	12.7	48.0	24.5	0	21.5
	年間	359	8636	13.5	88.0	40.8	1	28.7

カ 27年度一酸化炭素(CO)測定結果(鎌倉市岡本)

測定年月	有効測定日数(日)	測定時間数(hour)	1時間値の平均(ppm)	1時間値の最高値(ppm)	日平均値の最高値(ppm)	日平均値が10ppmを超えた日数(日)	8時間値が20ppmを超えた回数(回)	日平均値の2%除外値(ppm)
27年4月	30	712	0.3	0.8	0.5	0	0	0.5
5月	31	740	0.3	0.8	0.3	0	0	0.3
6月	30	715	0.3	1.0	0.4	0	0	0.4
7月	31	738	0.2	0.8	0.5	0	0	0.5
8月	31	738	0.2	1.4	0.4	0	0	0.4
9月	30	713	0.3	0.8	0.4	0	0	0.4
10月	31	737	0.4	0.9	0.6	0	0	0.5
11月	30	716	0.4	1.1	0.7	0	0	0.6
12月	31	740	0.5	1.4	1.0	0	0	0.7
28年1月	31	739	0.5	1.4	0.8	0	0	0.8
2月	29	690	0.4	1.4	0.7	0	0	0.5
3月	31	737	0.4	1.0	0.5	0	0	0.5
年間	366	8715	0.3	1.4	1.0	0	0	0.7

キ 27年度光化学オキシダント(OX)測定結果(市庁舎屋上)

測定年月	有効測定日数(日)	測定時間数(hour)	1時間値の平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)	1時間値が0.06ppmを超えた日数・時間		1時間値が0.12ppm以上の日数・時間		日平均値の最高値(ppm)
					(日)	(hour)	(日)	(hour)	
27年4月	30	713	0.038	0.086	9	36	0	0	0.053
5月	31	737	0.043	0.084	14	72	0	0	0.059
6月	30	715	0.035	0.104	8	31	0	0	0.054
7月	31	740	0.025	0.101	6	29	0	0	0.045
8月	30	732	0.027	0.098	7	24	0	0	0.047
9月	28	697	0.031	0.107	10	40	0	0	0.046
10月	31	738	0.031	0.074	5	9	0	0	0.048
11月	29	711	0.021	0.059	0	0	0	0	0.035
12月	31	740	0.021	0.043	0	0	0	0	0.035
28年1月	31	737	0.021	0.044	0	0	0	0	0.037
2月	29	691	0.028	0.064	2	6	0	0	0.045
3月	30	734	0.035	0.071	4	22	0	0	0.059
年間	361	8685	0.030	0.107	65	269	0	0	0.059

ク 27年度昼間(5時～20時)の光化学オキシダント(OX)測定結果(市庁舎屋上)

測定年月	有効測定日数(日)	測定時間数(hour)	1時間値の平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)	1時間値が0.06ppmを超えた日数・時間		1時間値が0.12ppm以上の日数・時間	
					(日)	(hour)	(日)	(hour)
27年4月	30	443	0.040	0.086	7	25	0	0
5月	31	459	0.047	0.084	14	65	0	0
6月	30	445	0.038	0.104	8	31	0	0
7月	31	461	0.028	0.101	6	25	0	0
8月	31	453	0.030	0.098	7	24	0	0
9月	30	436	0.035	0.107	10	40	0	0
10月	31	459	0.035	0.074	5	9	0	0
11月	30	441	0.023	0.059	0	0	0	0
12月	31	461	0.022	0.043	0	0	0	0
28年1月	31	458	0.023	0.044	0	0	0	0
2月	29	430	0.030	0.062	2	2	0	0
3月	31	455	0.036	0.067	4	13	0	0
年間	366	5401	0.032	0.107	63	234	0	0

(3) 光化学スモッグの発生状況

注意報発令件数及び被害者数の推移

項目		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
発令日数	県全体	5	5	16	9	10
	湘南地域	4	0	10	3	3
	本市	0	0	0	0	0
被害者数	県全体	1	0	75	0	0
	湘南地域	0	0	0	0	0
	本市	0	0	0	0	0

(備考)注意報は、光化学オキシダントの濃度が0.12ppm以上である大気の汚染の状態になり、気象条件からみてその状態が継続すると認められるときに発令されます。鎌倉市は湘南地域※に所属しており、湘南地域に所属するいずれかの市長にて上記の状態である時に「湘南地域に光化学スモッグ注意報発令」となります。

表中の「本市の発令日数」の欄には、鎌倉市本庁舎屋上にて測定している光化学オキシダント濃度の1時間値が0.12ppm以上となったの日数を記載しています。

※湘南地域：鎌倉市、平塚市、藤沢市、逗子市、茅ヶ崎市、葉山町、二宮町、寒川町、大磯町

(4) 自動車排出ガス等環境調査

本市では、自動車排出ガスによる大気汚染の状況を把握するため、二酸化窒素と浮遊粒子状物質等の調査を、市内主要道路の7地点で年2回実施しています。

ア 27年度月別調査結果

(i) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 測定結果(24時間平均値 単位 : ppm)

地 点	平成27年5月	11月	平均値
青少年会館	0.010	0.012	0.011
長谷	0.006	0.013	0.010
腰越	0.006	0.013	0.010
手広	0.013	0.017	0.015
大船	0.007	0.012	0.010
海岸橋	0.008	0.014	0.011
関谷	0.011	0.013	0.012
平均値	0.009	0.013	0.011

(ii) 浮遊粒子状物質 (SPM) 測定結果(24時間平均値 単位 : mg/m<sup>3</sup>)

地 点	平成27年5月	11月	平均値
青少年会館	0.028	0.008	0.018
長谷	0.029	0.010	0.020
腰越	0.029	0.009	0.019
手広	0.027	0.011	0.019
大船	0.026	0.012	0.019
海岸橋	0.031	0.011	0.021
関谷	0.027	0.008	0.017
平均値	0.028	0.010	0.019

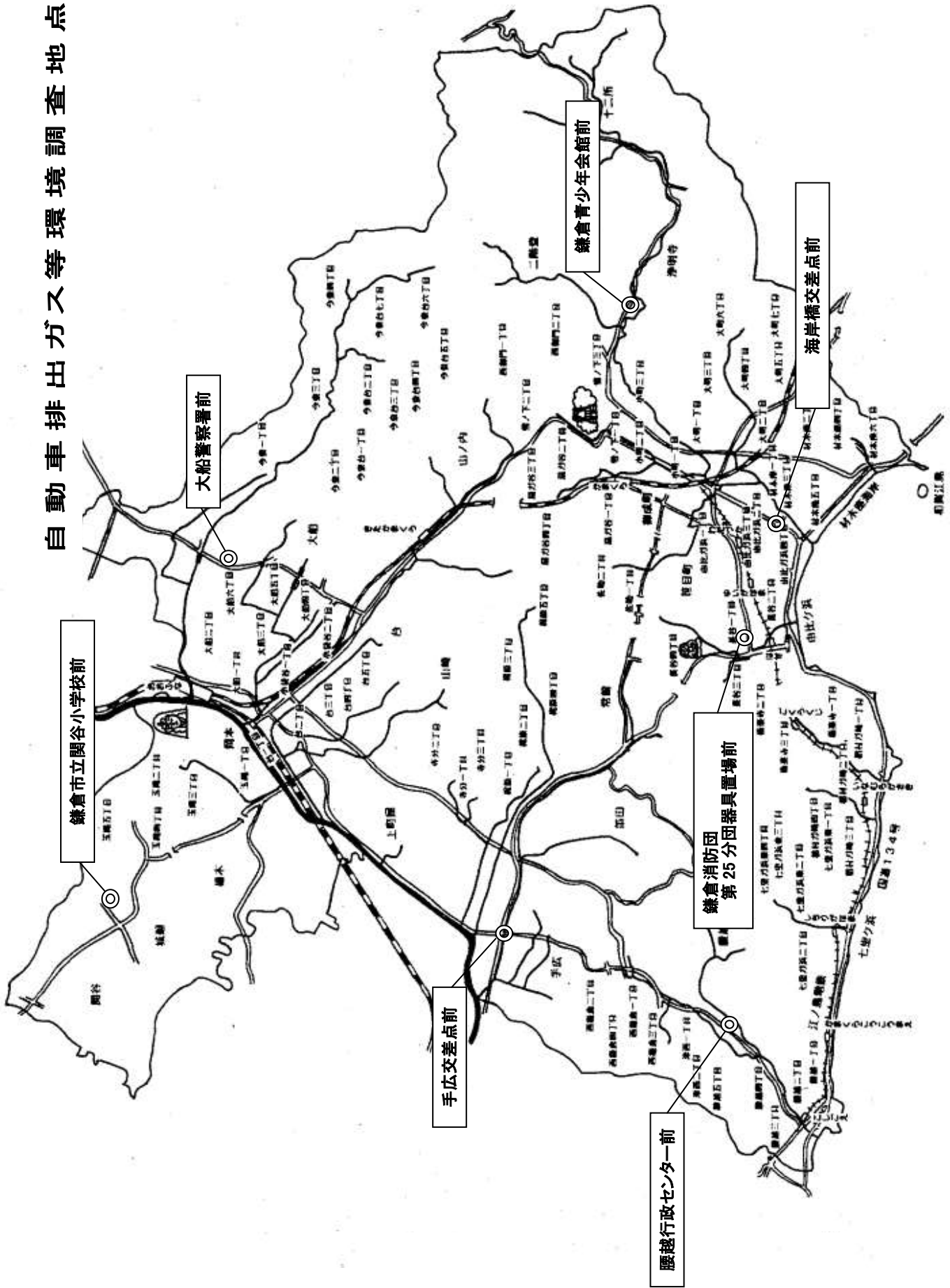
(iii) 自動車通行量測定結果(単位 : 台/12時間)

地 点	平成27年5月	11月	平均値
青少年会館	8,532	7,918	8,225
長谷	6,471	6,568	6,520
腰越	10,133	9,168	9,651
手広	23,842	24,914	24,378
大船	9,030	8,972	9,001
海岸橋	13,537	11,532	12,535
関谷	11,529	10,432	10,981
平均値	11,868	11,358	11,613

※通行量は12時間(8時~20時)連続計測したものです。ただし、二輪車は観測の対象外としました。  
 青少年会館→鎌倉青少年会館前  
 長谷→鎌倉消防団第25分団器具置場前  
 腰越→腰越行政センター前  
 手広→手広交差点前  
 大船→大船警察署前  
 海岸橋→海岸橋交差点前  
 関谷→鎌倉市立関谷小学校前



自動車排出ガス等環境調査地点図



(5) 二酸化窒素濃度調査

大気汚染の原因の代表物質である二酸化窒素による市内大気汚染状況を把握するため、P T I O法による大気中の二酸化窒素濃度を調査しています。

ア 調査期間

平成27年4月～平成28年3月

イ 調査場所

市内7地点

ウ 調査方法

P T I O法による大気中二酸化窒素濃度調査

調査地点の施設の屋上にシェルターを設置し、捕集用ろ紙を内装したサンプラーをそのシェルター内に取り付け、1ヵ月暴露した後サンプラーを回収し分析を行います。

エ 二酸化窒素濃度年平均値の経年変化（単位：v/vppm）

調査地点	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
鎌倉市役所(御成町18-10)	0.015	0.013	0.011	0.012	0.012
第二小学校(二階堂878)	0.014	0.013	0.014	0.011	0.011
七里ガ浜浄化センター(七里ガ浜東5-3-1)	0.015	0.014	0.012	0.010	0.012
腰越行政センター(腰越864)	0.015	0.015	0.013	0.014	0.013
深沢行政センター(常盤111-3)	0.017	0.018	0.013	0.013	0.013
今泉小学校(今泉2-13-1)	0.015	0.014	0.012	0.012	0.012
関谷小学校(関谷468-1)	0.018	0.017	0.014	0.015	0.015
市内全地点平均値	0.016	0.015	0.013	0.012	0.013

オ 27年度二酸化窒素濃度の測定結果（単位：v/vppm）

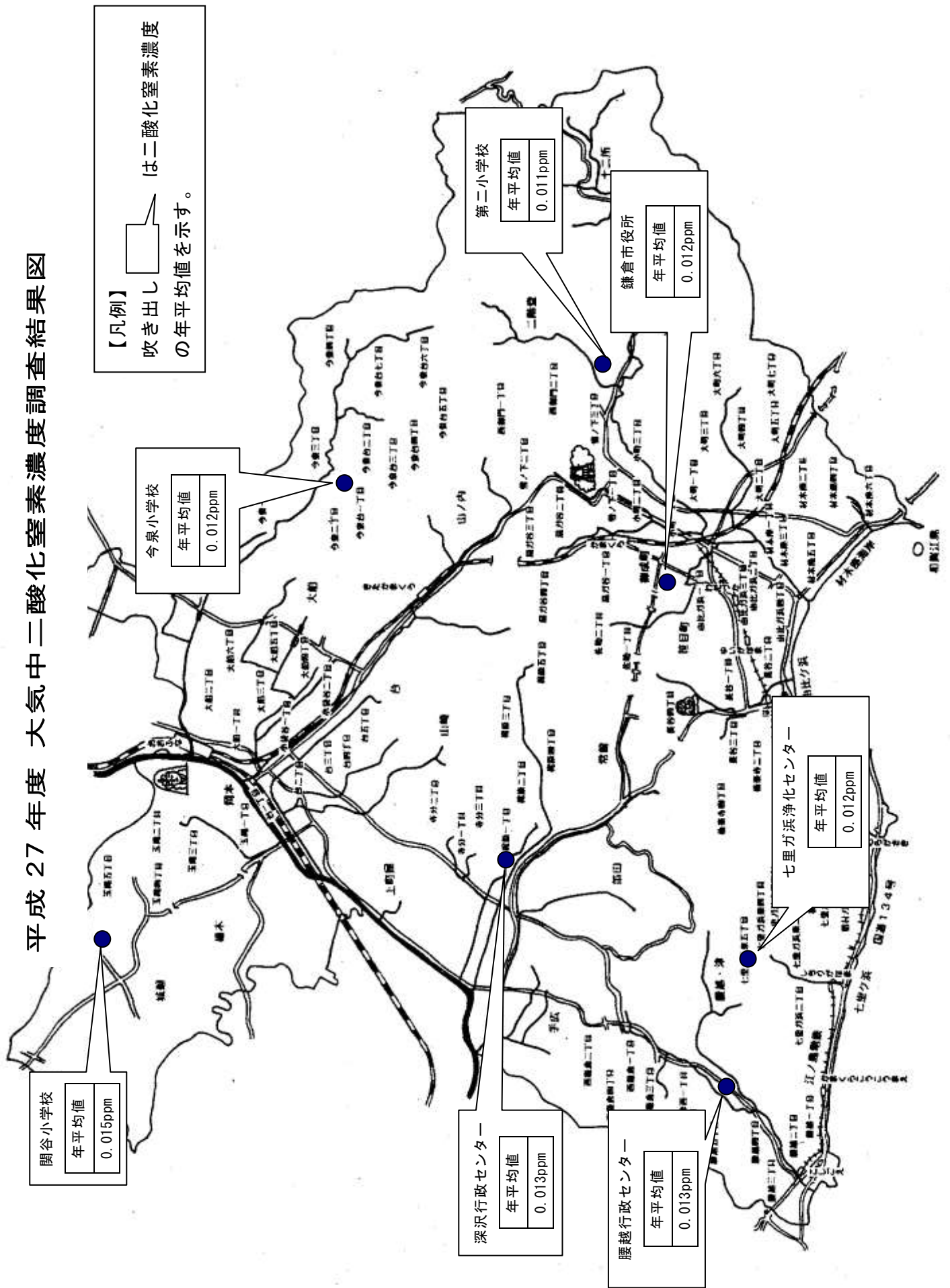
調査月	鎌倉市役所	第二小学校	七里ガ浜浄化センター	腰越行政センター	深沢行政センター	今泉小学校	関谷小学校	月平均
4月	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
5月	0.0083	0.0085	0.0085	0.0096	0.0087	0.0083	0.014	0.0094
6月	0.0075	0.0076	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	0.0072
7月	<0.007	<0.007	<0.007	0.0076	0.0088	0.0075	0.012	0.0081
8月	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
9月	0.0099	0.011	0.010	0.011	0.012	0.010	0.013	0.011
10月	0.0094	0.0078	0.013	0.012	0.012	0.011	0.013	0.011
11月	0.017	0.017	0.017	0.019	0.019	0.017	0.021	0.018
12月	0.017	0.022	0.019	0.021	0.022	0.020	0.024	0.021
28年1月	0.024	0.017	0.020	0.026	0.024	0.021	0.024	0.022
2月	0.015	0.014	0.016	0.018	0.020	0.016	0.020	0.017
3月	0.013	0.013	0.013	0.015	0.015	0.013	0.017	0.014
年平均	0.012	0.011	0.012	0.013	0.013	0.012	0.015	0.013

※定量下限値は変動する。6、7月については0.007v/vppm 4、8月は0.005v/vppm

※月平均の算出には、定量下限値を下回る測定値の場合、定量下限値を入力した。

ただし、4、8月については全地点定量下限値を下回ったため、月平均値を<0.005とした。

# 平成 27 年度 大気中二酸化窒素濃度調査結果図



(6) 酸性雨調査

鎌倉市では、市庁舎中庭（1階）にて水素イオン濃度計（pH計）を用いた簡易測定による酸性雨調査を行っています。27年度は延べ31回の測定を実施し、平均値は5.4で26年度より0.2高い値となりました。最も酸性の強い値は4.4で、26年度と同様に弱酸性の雨が観測されました。

また、年間を通して全体の約71%が酸性雨（水素イオン濃度（pH）5.6以下の雨）であり、弱酸性ではあるものの、やや酸性度の高い雨も今年度何回か観測されており、酸性雨という地球環境問題が未だ解決されていないと考えられます。

ア 測定値

平均値	水素イオン濃度（pH）	5.4
最も酸性の強かった測定値	水素イオン濃度（pH）	4.4
最も酸性の弱かった測定値	水素イオン濃度（pH）	6.8

イ 経年水素イオン濃度（pH）測定結果

	24年度	25年度	26年度	27年度
市庁舎屋上	5.4	5.5	5.2	5.4

ウ 神奈川県による水素イオン濃度（pH）測定結果（かながわ環境白書より）

神奈川県では、環境省の「湿性沈着モニタリング手引書」に基づき、平成27年度は県内2市の協力を得て雨水を採取し、水素イオン濃度（pH）などを測定し、酸性雨の実態調査を行っています。

地点	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
川崎市川崎区	4.8	4.9	5.1	4.9	5.3
平塚市	4.9	4.9	5.1	5.1	5.1
小田原市	4.8	欠測	実施せず	実施せず	実施せず
藤沢市	4.8	4.9	4.8	実施せず	実施せず

※ 神奈川県の共同調査に係る水素イオン濃度（pH）の年間平均値は、雨水を1週間採取した際の期間降水量で重み付けをしています。

鎌倉市で行っている簡易測定データとは測定方法が異なるため単純に比較は出来ません。